

都市再生整備計画 事後評価シート

乙金地区(第二期)

平成29年3月

福岡県大野城市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	大野城市		地区名	乙金地区(第二期)			面積	105ha		
交付期間	平成26年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	293百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
		基幹事業	道路(現人橋乙金線歩行者専用道路整備、現人橋乙金線井の口交差点改良、乙金1001号線道路拡幅、乙金1007号線歩道整備、乙金・釜蓋線歩道整備、中・乙金線歩道整備)、公園(街区公園(1号公園)整備、街区公園(2号公園)整備)										
		提案事業	事業効果分析業務										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(乙金公園)				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし				事業時期の変更により他の都市再生整備計画事業に位置づけたため。			地区の居住人口や新築着工件数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。			
		新たに追加した事業	基幹事業	なし				—			—		
	提案事業	なし				—			—				
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			・期間を1年間短縮したため、1年あたりの見込み増加数を差し引いた。 ・居住人口の目標値をマイナス100人分下方修正、新築着工件数の目標値をマイナス20戸分下方修正。							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目 標 値		数 値		目 標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	居住人口	人	7,892	H25	8,100	H28	—	8,461	○	あり	土地区画整理事業による新規の市街地整備に加え、土地区画整理事業地区周辺の既存住宅地の道路環境の改善を行ったことにより、都市再生整備計画の計画地区全体の利便性や安全性が高まった。その結果、土地区画整理事業地区内の人口増加だけでなく、都市再生整備計画の計画地区全体の居住人口の増加につながった。	平成29年4月
										なし			
	指標2	新築着工件数	戸	77	H25	130	H28	—	138	○	あり	データの計測方法は土地区画整理事業地内の76条申請数であることから、土地区画整理事業及び地区内の公園整備事業が直接的な貢献をしている。ただし、土地区画整理事業地区周辺の道路整備といった都市再生整備計画の計画地区全体の環境整備を行ったことが地区全体の利便性や安全性を高めており、その結果、保留地販売の好調にもつながっている。	平成29年4月
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	目 標 値		数 値		目 標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	コミュニティバスの乗降客数	人	364,093	H25						乗降客数の増加は人口増加が大きな要因となっており、土地区画整理事業が直接的に貢献したと評価できる。また、路線バスのルートである乙金・釜蓋線の整備及び都市計画道路である現人橋乙金線の整備により、乙金・釜蓋線の混雑が解消され、バスの定時性が高まり、乗降客数が増加したと評価できる。その他の道路整備については、歩いて暮らしやすいまちづくりの実現につながり、間接的にコミュニティバスの乗降客数増加に貢献したと評価できる。		
4)定性的な効果発現状況	・都市計画道路である現人橋乙金線の整備により、広域的な自動車交通の流れが変わり自動車及び歩行者交通の安全性が高まった。 ・歩道未整備箇所の歩道が整備されることにより、歩行者の安全性が高まった。 ・土地区画整理事業により整備された大街区にスーパー等の日常利便施設が立地し、居住者の利便性が高まった。 ・バスルートの混雑が解消されバスの定時性が高まりバス利用の利便性が高まった。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた				—				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	公園ワークショップ(乙金1号公園、乙金2号公園)	都市再生整備計画に記載し、実施できた						● 今後も住民との協働によるまちづくりの推進を図る。				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
大野城市乙金第二土地区画整理組合総会への参加		都市再生整備計画に記載し、実施できた						● 今後も引き続き組合施行土地区画整理事業の総会に参加し、事業推進をサポートしていく。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
事業説明会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた						● 今後も住民との協働によるまちづくりの推進を図る。					
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
持続的なまちづくり体制の構築		多角的に行政評価(診断)を行うシステム「公共サービスDOCK事業」(D=誰でも、O=オープンに、C=チェックできる、K=環境づくり)により、市民及び専門家の意見を反映させている。		都市再生整備計画に記載し、実施できた						● 今後も「公共サービスDOCK事業」により、様々な意見を取り入れながら、市民満足度の高い公共サービスの提供及び効率的な行政経営を目指していく。			
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
		路線バスの利便性向上のための検討		都市再生整備計画に記載し、実施できた						● 今後も「バス交通協議会」による協議を継続的に行い、バス利用者の利便性向上および生活交通の維持を図る。			
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

乙金地区（第二期）（福岡県大野城市）まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 安全で快適な居住環境の形成 目標1 安全な歩行者空間の確保による快適性の向上 目標2 交通利便性や生活利便性の向上による魅力ある居住環境の創出		居住人口	単位：人	7,892	H25	8,100	H28	8,461	H28
		新築着工件数	単位：戸	77	H25	130	H28	138	H28
		コミュニティバスの乗降客数	単位：人	364,093	H25			369,169	H27
まちの課題の変化	- 一部の旧市街地内の狭あい道路、歩道未整備道路に対して、道路拡幅、水路の蓋かけによる歩道整備、バリアフリー化などを行い、歩行者の安全性が向上した。 - 新旧住民を対象とした公園ワークショップの開催や整備した公園が夏祭り会場として利用されるなど、新旧居住者交流の機会創出と場所の整備ができた。 - 地区内と中心市街地を結ぶコミュニティバスを2台購入し、交通利便性の向上ができた。 - 地区内には拡幅整備等が困難な狭あいな道路が残っており、歩行者の安全確保のために対応策の検討が必要である。 - 地区の人口増加や便利施設の立地に伴い自動車交通量が増加したため交通安全に関する取組みが必要である。								
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	- 歩行者の安全性向上策及び自動車交通量の増加に伴う事故防止について、歩行者や運転者に対して交通安全意識を向上させる取り組みを行い、歩行者の安全性を維持していく。 - 地域コミュニティによるまちづくりのために、地域活動の充実、安全安心の街づくりを進める。 - コミュニティバスについて、利便性向上を目指し、利用者等の動向を踏まえながら、さらなる利用者の増加を図り、市民の満足度を高める。 - 狭あい道路の整備について、改善が可能な道路についてはハード整備を検討する。また、拡幅整備等が困難な道路については、事故を未然に防止するための交通安全施設の設置等の対策を行う。								